

# 第9回千葉急性血液浄化研究会

## プログラム

日 時 2008年5月25日(日) 13:00~18:00  
会 場 京葉銀行文化プラザ 6階 櫛の間  
(旧ぱるるプラザ千葉)  
千葉市中央区富士見 1-3-2  
TEL 043-202-0800

当番世話人 東葛クリニック病院 松金隆夫

\* 本研究会は千葉県医師会の生涯教育講座に認定されています(3単位)

主 催 千葉急性血液浄化研究会 鳥居薬品株式会社

# 千葉急性血液浄化研究会会則

## 第1章 名称

第1条 本会は、千葉急性血液浄化研究会と称する

## 第2章 目的及び事業

第2条 本会は、急性血液浄化に関する診療・研究の進歩、発展、ならびに普及を図る事を目的とする

第3条 本会は、前条の目的を達成する為に、原則として年1回の研究会を開催する  
なお、研究会の演題は会員から募集し、発表内容は記録集として公刊する

第4条 本会の事務局を千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学（千葉市中央区亥鼻1-8-1）内に置く

## 第3章 会員

第5条 会員は、本会の目的に賛同する医師、臨床工学技士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、研究者とする

## 第4章 役員

第6条 本会は次の役員を置く  
代表世話人 1名  
世話人 若干名  
役員任期は3年とし、再任を妨げない

## 第5章 運営及び世話人会

第7条 本会は世話人の合議により運営される

第8条 世話人会は、原則として研究会当日、学術集会開始前に開催し、次回研究会の当番世話人をはじめ重要事項を審議・決定する  
世話人会の議長は当番世話人が務める

## 第6章 補則

第9条 本会の会則は、世話人会において審議し、変更することができる

## 附則

この会則は、平成11年10月1日から施行する

平成14年5月12日一部改正

# 千葉急性血液浄化研究会世話人

## 代表世話人

千葉大学

名誉教授 平澤 博之

## 世話人

亀田総合病院	腎臓高血圧内科	部長	望月 隆弘
君津中央病院	救急・集中治療科	部長	北村 伸哉
国保旭中央病院		副院長	伊良部徳次
国保旭中央病院	臨床工学室	ME	向後 恒吉
三愛記念市原クリニック		院長	大竹 喜雄
聖隷佐倉市民病院	臨床工学室	ME	藤田 陽介
高浜胃腸クリニック		院長	沼野 健
千葉県循環器病センター	心臓血管外科	部長	村山 博和
千葉社会保険病院	透析部	部長	室谷 典義
千葉社会保険病院	透析センター	看護科長	佐々木美千子
千葉大学医学部附属病院	前救急部・集中治療部	看護師長	笹本喜美江
千葉大学医学部附属病院	人工腎臓部	ME	山根 慎滋
千葉大学大学院医学研究院	救急集中治療医学	教授	織田 成人
千葉労災病院	循環器科	部長	石川 康朗
千葉労災病院	臨床工学技士室	ME	長見 英治
千葉西総合病院		院長	三角 和雄
津田沼病院		院長	梶本 伸一
帝京大学ちば総合医療センター	救急集中治療センター	教授	福家 伸夫
帝京大学ちば総合医療センター	救急集中治療センター	教授	志賀 英敏
帝京大学ちば総合医療センター	臨床工学部	係長	山崎 英隆
東葛クリニック病院		理事長	東 仲宣
東葛クリニック病院	臨床工学部	部長	松金 隆夫
東京慈恵会医科大学附属柏病院	救急部	講師	大谷 圭
東京女子医科大学八千代医療センター	泌尿器科	准教授	鬼塚 史朗
東葉クリニック		理事長	田畑陽一郎
東葉クリニック		統括部長	佐藤 忠俊
成田赤十字病院	救急・集中治療科	部長	中西加寿也
成田赤十字病院	内科	部長	大橋 弘文
日本医科大学千葉北総病院	集中治療室	部長	畑 典武
平山病院		院長代行	菅井 桂雄
船橋市立医療センター	麻酔科・集中治療科	部長	境田 康二
前田記念腎研究所 茂原クリニック	臨床工学部	部長	川崎 忠行
松戸市立病院		副院長	澁谷 正徳
みはま成田クリニック		院長	河野 孝史
大和成和病院	心臓血管外科	副院長	小坂 眞一

(施設名 50 音順)

## 開会の挨拶

当番世話人 東葛クリニック病院 松金隆夫

### Session 1 13:00~13:50

座長 国保旭中央病院 臨床工学室 向後恒吉

1. 小児に対する血液浄化療法の施行経験  
帝京大学ちば総合医療センター 臨床工学部<sup>1)</sup>、救急集中治療センター<sup>2)</sup>  
菊池義彦<sup>1)</sup>、有野卓也<sup>1)</sup>、小川由希子<sup>1)</sup>、山崎英隆<sup>1)</sup>、福家伸夫<sup>2)</sup>、志賀英敏<sup>2)</sup>、宇野幸彦<sup>2)</sup>  
横井健人<sup>2)</sup>、小林亜美<sup>2)</sup>
2. 当院における救命救急センターでの血液浄化の現況  
国保旭中央病院 人工透析センター  
矢浦昌人、高木 誠、時計 渚、大石正人、向後恒吉、宮内義浩、渡邊 隆、堀江篤哉  
伊良部徳次
3. 当院における緊急血液浄化の現況報告  
東葛クリニック病院 臨床工学部<sup>1)</sup>、外科<sup>2)</sup>  
新部美沙都<sup>1)</sup>、野口隆司<sup>1)</sup>、渋谷泰史<sup>1)</sup>、松金隆夫<sup>1)</sup>、東 仲宣<sup>2)</sup>
4. 当施設における術後・急性期に対する血液透析施行上の技術的検討  
亀田総合病院 ME室<sup>1)</sup>、腎臓高血圧内科<sup>2)</sup>  
石原一樹<sup>1)</sup>、青木洋二<sup>1)</sup>、小林 淳<sup>1)</sup>、加藤宝貢<sup>1)</sup>、土屋智一<sup>1)</sup>、河本 明<sup>1)</sup>、市川とし子<sup>1)</sup>  
須鎌香里<sup>1)</sup>、関根広介<sup>1)</sup>、石坂純一朗<sup>1)</sup>、関 義広<sup>1)</sup>、原 隆雄<sup>1)</sup>、望月隆弘<sup>2)</sup>
5. 一般病棟において29回施行したCHDFの実施例 - 臨床工学技士の役割を中心に -  
千葉労災病院 臨床工学部<sup>1)</sup>、看護部<sup>2)</sup>、外科<sup>3)</sup>、循環器科<sup>4)</sup>、院長<sup>5)</sup>  
末吉克成<sup>1)</sup>、石井利幸<sup>1)</sup>、田村高志<sup>1)</sup>、長見英治<sup>1)</sup>、西川佐喜代<sup>2)</sup>、宮崎房枝<sup>2)</sup>、信本大吾<sup>3)</sup>  
伊良部真一郎<sup>3)</sup>、外岡 亨<sup>3)</sup>、松本正成<sup>3)</sup>、草塩公彦<sup>3)</sup>、安富 淳<sup>3)</sup>、宇田川郁夫<sup>3)</sup>  
鈴木 秀<sup>3)</sup>、石橋 聡<sup>4)</sup>、武田真一<sup>4)</sup>、山内雅人<sup>4)</sup>、石川康朗<sup>4)</sup>、深尾 立<sup>5)</sup>

### Session 2 13:50~14:30

座長 千葉大学医学部附属病院 人工腎臓部 山根慎滋

6. 尿路感染症からの敗血症に対しPMX-DHP + PMMA-CHDFが著効した1例  
東京女子医科大学八千代医療センター 臨床工学室<sup>1)</sup>、泌尿器科<sup>2)</sup>、腎臓内科<sup>3)</sup>  
総合・救急診療科<sup>4)</sup>、麻酔科<sup>5)</sup>  
佐々木 健<sup>1)</sup>、高橋牧子<sup>1)</sup>、海老沢秀夫<sup>1)</sup>、杉浦陽一<sup>1)</sup>、鬼塚史朗<sup>2)</sup>、小池美菜子<sup>3)</sup>  
石川雅健<sup>4)</sup>、佐藤二郎<sup>5)</sup>
7. PMX-DHPで加療した敗血症の1例  
日本医科大学千葉北総病院 集中治療室  
金丸勝弘、横山真也、野崎文華、白壁章宏、小林宣明、福島正人、品田卓郎、畑 典武
8. 当院におけるエンドトキシン吸着療法の有用性  
小張総合病院 臨床工学科<sup>1)</sup>、腎・糖尿病内科<sup>2)</sup>  
津村繁己<sup>1)</sup>、渡辺修一<sup>2)</sup>、岩永伸也<sup>2)</sup>
9. 当院におけるトレミキシン(PMX)使用例の検討  
千葉東病院 血液浄化センター  
川口琢也、伊藤久美、今井雄也、花澤直樹、大塚裕季、首村守俊、大林弘明、西村元伸

## Session 3 14:30~15:20

座長 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 織田成人

10. 急性腎不全発症後に敗血症を合併し、循環管理に苦慮した高齢者 MCNS の 1 例  
成田赤十字病院 内科<sup>1)</sup>、救急・集中治療科<sup>2)</sup>  
石川崇広<sup>1)</sup>、倉本充彦<sup>1)</sup>、岩本太郎<sup>1)</sup>、大橋弘文<sup>1)</sup>、尾世川正明<sup>1)</sup>、中西加寿也<sup>2)</sup>
11. 維持血液透析患者に発症した脳出血の術後管理として腹膜透析にて対処した 1 例  
東京慈恵会医科大学附属柏病院 腎臓・高血圧内科<sup>1)</sup>、脳神経外科<sup>2)</sup>、救急部<sup>3)</sup>  
寺脇博之<sup>1)</sup>、中尾正嗣<sup>1)</sup>、山田有紀子<sup>1)</sup>、山本 亮<sup>1)</sup>、濱口明彦<sup>1)</sup>、小倉 誠<sup>1)</sup>、加藤直樹<sup>2)</sup>  
大塚俊宏<sup>2)</sup>、澤内 聡<sup>2)</sup>、大谷 圭<sup>3)</sup>
12. バスキュラーアクセスに難渋した重症筋無力症に対する血漿交換の 1 例  
さとうクリニック<sup>1)</sup>  
千葉社会保険病院 透析部<sup>2)</sup>  
佐久間宏治<sup>1)</sup>、内海展子<sup>1)</sup>、秋山美津子<sup>1)</sup>、松井 純<sup>1)</sup>、中村智恵実<sup>1)</sup>、豊島こずえ<sup>1)</sup>  
星野浩子<sup>1)</sup>、横川明子<sup>1)</sup>、本庄美恵子<sup>1)</sup>、佐藤純彦<sup>1)</sup>、室谷典義<sup>2)</sup>
13. 血漿交換療法が奏効したスティーブンス・ジョンソン症候群の 1 例  
帝京大学ちば総合医療センター 臨床工学部<sup>1)</sup>、救急集中治療センター<sup>2)</sup>  
菊池義彦<sup>1)</sup>、有野卓也<sup>1)</sup>、小川由希子<sup>1)</sup>、山崎英隆<sup>1)</sup>、福家伸夫<sup>2)</sup>、志賀英敏<sup>2)</sup>、宇野幸彦<sup>2)</sup>  
横井健人<sup>2)</sup>、小林亜美<sup>2)</sup>
14. 血漿交換が著効した SLE による TTP の 1 例  
亀田総合病院 腎臓高血圧内科<sup>1)</sup>、リウマチ・膠原病・アレルギー内科<sup>2)</sup>  
雨宮伸幸<sup>1)</sup>、片岡浩史<sup>1)</sup>、松井勝臣<sup>1)</sup>、山口憲児<sup>1)</sup>、渡邊喜彦<sup>1)</sup>、小原まみ子<sup>1)</sup>、望月隆弘<sup>1)</sup>  
本島新司<sup>2)</sup>

## Session 4 15:20~16:00

座長 帝京大学ちば総合医療センター 救急集中治療センター 志賀英敏

15. Plasauto iQ21 用改良型 CHDF 回路の評価  
聖隷佐倉市民病院 臨床工学室  
小山馨代、梅津初美、藤谷 光、八木 努、道浦栄一郎、岸川泰則、藤田陽介
16. 急性血液浄化時の実態把握とマニュアル作成の検討  
千葉社会保険病院 臨床工学部<sup>1)</sup>、透析部<sup>2)</sup>  
森 麻里子<sup>1)</sup>、小林香澄<sup>1)</sup>、渡辺 豊<sup>1)</sup>、岡澤勝巳<sup>1)</sup>、山口修生<sup>1)</sup>、鶴岡良啓<sup>1)</sup>、室谷典義<sup>2)</sup>
17. CHDF 医療事故を経験して  
国保小見川総合病院 臨床工学科<sup>1)</sup>、看護部<sup>2)</sup>、内科<sup>3)</sup>  
堀 和芳<sup>1)</sup>、井上雅裕<sup>3)</sup>、飯塚智也<sup>1)</sup>、木戸岡智志<sup>1)</sup>、斎藤友佑<sup>1)</sup>、塩田賢司<sup>1)</sup>、篠塚信子<sup>2)</sup>  
三上恵只<sup>3)</sup>
18. 当院における持続的血液浄化法の安全管理について  
帝京大学ちば総合医療センター 臨床工学部<sup>1)</sup>、救急集中治療センター<sup>2)</sup>  
森 祐樹<sup>1)</sup>、小藪 毅<sup>1)</sup>、三浦祐介<sup>1)</sup>、秋山泰利<sup>1)</sup>、梅澤香織<sup>1)</sup>、菊池義彦<sup>1)</sup>、有野卓也<sup>1)</sup>  
小川由希子<sup>1)</sup>、山崎英隆<sup>1)</sup>、志賀英敏<sup>2)</sup>、福家伸夫<sup>2)</sup>

## Session 5 16:00 ~ 16:40

座長 亀田総合病院 腎臓高血圧内科 望月隆弘

### 19. 透析患者における心臓手術での血液浄化スケジュール

新東京病院 ME サービス室<sup>1)</sup>、心臓血管外科<sup>2)</sup>

鈴木智和<sup>1)</sup>、高橋裕一<sup>1)</sup>、矢作清貴<sup>1)</sup>、川竹紘子<sup>1)</sup>、千葉和憲<sup>1)</sup>、八重樫美樹<sup>1)</sup>、花島美樹<sup>1)</sup>  
三原修司<sup>1)</sup>、降矢憲一<sup>1)</sup>、佐藤達也<sup>1)</sup>、三上 幸<sup>1)</sup>、吉田 純<sup>1)</sup>、鈴木香代子<sup>1)</sup>、山口裕己<sup>2)</sup>

### 20. 透析患者における僧帽弁狭窄症の治療戦略 - 術後心室頻拍、呼吸不全、肝不全の治療に難渋した透析患者の1例より -

大和成和病院 心臓血管外科

遠藤由樹、倉田 篤、武藤康司、藤崎浩行、小坂眞一、米田正始、南淵明宏

### 21. ICU入室症例のRIFLE Criteriaを用いた検討

千葉大学医学部<sup>1)</sup>

千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学<sup>2)</sup>

林 洋輔<sup>1)</sup>、岩瀬信哉<sup>1)</sup>、織田成人<sup>2)</sup>、貞広智仁<sup>2)</sup>、仲村将高<sup>2)</sup>、安部隆三<sup>2)</sup>、中田孝明<sup>2)</sup>

大島 拓<sup>2)</sup>、大谷俊介<sup>2)</sup>、篠崎広一郎<sup>2)</sup>、島田忠長<sup>2)</sup>、服部憲幸<sup>2)</sup>、仲村志芳<sup>2)</sup>、奥 怜子<sup>2)</sup>

松村洋輔<sup>2)</sup>、平澤博之<sup>2)</sup>

### 22. 救命困難なSeptic Shockに対する血液浄化法の強化 ~ Double PMMA-CHDFの有効性とその適応 ~

千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

松村洋輔、織田成人、貞広智仁、仲村将高、安部隆三、中田孝明、大島 拓、大谷俊介

篠崎広一郎、島田忠長、服部憲幸、仲村志芳、平澤博之

## コーヒープレイク 16:40 ~ 17:00

## 特別講演 17:00 ~ 18:00

司会 東葛クリニック病院 臨床工学部 松金隆夫

# 急性血液浄化器の性能評価

湘南工科大学 工学部 マテリアル工学科

教授 山下 明泰 先生

閉会の挨拶

当番世話人 臨床工学部 松金隆夫

意見交換会

## 演者および司会・座長へのお願い

1. 一般演題は1題につき口演時間6分、討論時間4分です。時間を厳守して下さい。
2. 発表の方法は、原則PCプレゼンテーションのみとさせていただきます。
3. 発表に際する留意点は以下の通りとさせていただきます。
  - 1) 必ずご自身のパソコンをお持ちになって下さい。
  - 2) お持込みになるパソコンのOSはWindowsのみ(Macintoshは不可)とさせていただきます。  
なおバージョンはWindows2000以上とし、使用ソフトはPower Pointとして下さい。
  - 3) 不測の事態に備え、必ずバックアップデータ(メディアはUSBメモリー、もしくはCD-R)をお持ち下さい。
  - 4) 会場にて電源をご用意致しますので、必ずACアダプタをお持ち下さい。
  - 5) 会場でご用意するコネクタの形状は、D-sub15ピン(ミニ)です。この形状に合ったコネクタをご用意下さい。
  - 6) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいて下さい。
  - 7) 発表30分前までにPC受付にて動作確認を済ませた後、そのままパソコン、またはメディアをお預け下さい。
  - 8) 口演時間になりましたらオペレーターがパソコンを接続し、演台に設置致します。
  - 9) スライドの進行はご自身で行なって下さい。
4. 次演者の方は、必ず次演者席に着席をお願い致します。
5. 抄録は、「医薬の門」誌に掲載されますので、研究会当日、PC受付に提出下さい。  
なお、抄録はWord(演題名、所属、演者および共同演者を記載し、本文は400字前後とする)で作成し、お持込みになるパソコン、もしくはバックアップ用のメディア内に収めてお持ち下さい。